

神奈川芸術プレス Vol.102

September, 2011



岡本知高

9

ARTS PRESS

KANAGAWA



CREATOR'S VOICE 121 ソプラニスタ

岡本知高

ファンタステイク・ガラコンサート2011
「カンターレ、イタリア! 永遠のオペラ&バレエ」に出演

神奈川県民ホールギャラリー「日常/ワケあり」
アート・コンプレックス2011

県央・相模原エリアに注目!
「ロッキー・ホラー・ショー」KAATで上演決定!

岡本知高

Tomotaka Okamoto ソプラニスタ

物語を描き出す歌の力

オペラからバレエまで、夢のように楽しく華やかな音楽がたっぷり味わえる年末恒例のガラコンサート。今年は美しい高音とゴージャスな衣裳で聴き手を酔わせる、ソプラニスタの岡本知高が出演。イタリアのオペラアリアからミュージカルナンバーまで多彩なプログラムを披露し、各曲でひとつずつ物語を描き出す。彼はこれまで幾多の試練を乗り越え、聴き手の心に染み入る歌声をゆっくりと時間をかけて培ってきた。そこには世界でも希有な存在といわれる、「男性でありながら女声の音域を持つソプラニスタ」、岡本知高の人生の物語がある。その人生がすべて歌に投影され、曲を味わい深く肉厚なものにしている。そんな彼のこれまでの歩みとは…。

—岡本さんは子ども時代の高い声のまま自然な変声期を経て現在に至っているそうですが、まったく変化はなかったのでしょうか。

ええ、女性と同じようなゆるやかな変わり方でしたので、ぼく自身もまわりも気づきませんでした。実は歌手になってから、ある朝起きたら突然バリトンのような低い声になっていたら大変なので一応医師に見てもらったところ、声帯は成人男性の成長をしているので大丈夫だと言われ、ようやく安心しました(笑)。中学時代の音楽の先生も、「知くんは声が高いからソプラノに回って」と、自然に言ってくれたため妙な目で見られずにすみしました。ぼくの両親は市民合唱団で知り合って結婚したので、家にはいつも歌があふれていました。歌の好きな子になってほしいと願っていたようです。

—小学校1年生のときから4年間、病気のために養護施設で過ごしたそうですが、その間はどんな生活だったのでしょうか。

ペルテス病という足の病気で、子鹿園という施設で治療しました。ここには学校も併設され、ぼくよりも重い病気の子どもたちがたくさんいました。ですから子どもなりに自分は何かやるべきことがあると考え、松葉杖と装具をつけながらも車椅子を押す手伝いをしたりしました。週末は両親が車で3時間かけて迎えに来てくれ、一晩家で過ごす。その往復6時間がとても貴重な両親とのふれあいのときで、いつも『もみじ』や『ふるさと』などの唱歌をみんなで歌いました。治ってから退園するとき



は、まだ残っている子もいるわけですし、とても複雑な思いにとらわれました。ここでの経験がぼくを成長させてくれたと思います。いまでも彼らとの交流は続いていますよ。

—中学校時代には吹奏楽でサクスを吹き、音楽教師になりたいと思われたそうですね。

ぼくはこれをやろうと決めると一気に突っ走るタイプで、直感人間なんです。サクスもものすごく練習し、音楽大学に進んで教師になりたいと夢見ていました。でも、あるときもって幅広い音楽の勉強をしたいと考え、サクスをあっさり断念。その時点で楽譜を全部友人に送ってしまいました。親はそれまでお金をかけてくれたわけですから、びっくりですよ。その後、高校3年で歌を始め、音大に進んだのですが、またまた転機が(笑)。

—留学への決意ですね。

そうなんです。実は大学2年のときに神奈川県民ホールで行われたボローニャ歌劇場の来日公演の『アイダ』にエキストラで出演したんです。歌の出番はまったくなく、王様をかついだり、貢ぎ物を捧げたりする役でしたが、本場のイタリア語に触れ、イタリア人の歌を間近に聴き、彼らの気質に魅了され、一気に留学熱が沸騰した。これが契機となり、大学卒業後、先生にも誰にも言わずにパリに行きました。最初の1年は語学の勉強と先生探しに明け暮れ、ようやく13人目にギリシャ人の女性声楽家、アレクサンドラ・パパジャクが見つかり師事しました。当時のぼくのレパートリーの中心はイタリア・バロックで、いわゆるカストラートの曲ですが、彼女はより幅広い作品を歌うよう助言してくれ、ぼくが本来持っている声を尊重し、肉付けをするという教え方でした。オペラに向いていると言われ、コンサートだったらプッチーニやヴェルディの女声のアリアが歌えるとも言ってくれました。

—その頃ですよ、イタリアにオペラの勉強に行くように勧められたり、パリのノートルダム大聖堂の聖歌隊から入隊の声をかけられたりしたのは。

いろいろなお話をいただきました。でも、ぼくにとって留学は自分を見つめ、可能性を追求する時期でした。そして日本語の美しさを再発見し、日本語で歌いたいと思ったんです。いまはオペラアリアからミュージカル、カンツォーネ、海外の民謡、日本の叙情歌まで幅広く歌っていますが、モットーは二度と同じ演奏は行わない

こと。常に新しい挑戦を試み、向上心を持つよう心がけ、お客様に喜んでいただける音楽を提供するというのが基本コンセプトです。そのためには常に勉強を続けなくてはなりません。こういう気持ちを植え付けてくれたのが、ほかならぬ留学だったと思います。フランスは古い物を大切にす国。語学を勉強し、歴史的な建物に囲まれ、ヨーロッパの空気を肌で感じる——こうしたこともぼくにとって大きな財産となりました。

—最近もNHK-BSで放映されましたが、フィレンツェでシルヴィア・ボッサさんという女性の先生に就いて3日間、毎日6時間レッスンを受けましたね。

あれはきびしかった(笑)。先生はぼくをプロとして扱ってくれ、いまの自分に何が必要かを文字通りたたき込んでくれました。発声のときに前歯の付け根を振動させ、ほうれい線の始まりのところに声をあてる、頭蓋骨を響かせる方法ですが、それを体当たりで教えてくれました。あのレッスンのあと、しゃべる声まで変わったくらいです。ぼくはこれまで女性の先生に学んできましたが、聴くのも女声に惹かれます。ふくよかな潤いに満ちたメゾソプラノが好きですね。人間の声というのは、一日として同じ状態ではないと思うのです。年齢を重ねると、人の声は徐々に変化していく。自分がこんなにも人の声というものに興味を抱くとは思いませんでしたが、いまは赤ちゃんの泣き声にも興味津々。彼らはいくら泣いても声帯を壊さないし、何時間でも大声で泣き続けることができる。注意深く耳を傾けると、何を求めているのか微妙なニュアンスの違いで伝えている。母親に向けて訴えているのでしょうか、声をどこにあてているのかと一生懸命聴いてしまいます(笑)。

—近い将来歌いたい作品は何でしょうか。

いま、「トゥーランドット」のトゥーランドット姫が歌う、「この御殿のなかで」に挑戦したいと思って勉強しています。カラフはすでに歌っていますが、やはりぼくの声はトゥーランドット姫に向いていると思うんです。衣裳も考えながら、聴いてくださる方の心に届く歌を歌えるよう日々精進します。

取材・文 伊熊よし子
写真 大野純一



岡本知高(ソプラニスタ)
Tomotaka Okamoto

女性ソプラノの音域を持つ男性ソプラノ歌手【ソプラニスタ】。

1998年ベートーヴェン作曲「第九」ソプラノソリストとして抜擢を受けてデビューを果たし、99年国立音楽大学卒業。パリ・プーランク音楽院に留学、2002年首席で修了。帰国後は多くのメディアに取り上げられ、03年ユニバーサルミュージックよりCDデビューを果たす。04年ドラマ『牡丹と薔薇』で主題歌を担当。06年からはフジテレビ系列フィギュアスケート番組のテーマソング『ボレロ』を担当。海外オーケストラからの評価も高く、国内外各地でのソロコンサートとあわせて、ライフワークとして取り組んでいる学校訪問コンサートや子どもたちとの共演にも積極的に力を注いでいる。ホリプロ所属。高知県宿毛市出身。

岡本知高氏 公演情報(日本)

岡本知高 Concerto del Sopranista 2011

11月6日(日)13:30 開演
東京オペラシティコンサートホール
☎0120-499-699(サモンプromoーション)

神奈川県民ホール 年末年越しスペシャル

ファンタスティック・ガラコンサート2011

「カンターレ、イタリア! 永遠のオペラ&バレエ」
12月29日(木)15:30 開演 神奈川県民ホール大ホール
☎045-662-8866(チケットかながわ)

指揮:松尾葉子 司会・バリトン:宮本益光

出演:岡本知高(ソプラニスタ)、山口道子(ソプラノ)、
大澤一彰(テノール)、上野水香(東京バレエ団)、
高岸直樹(東京バレエ団)

管弦楽:神奈川県フィルハーモニー管弦楽団

曲目/ヴェルディ:「運命の力」~神よ平和を与えたまえ#、
F・サルトリ:タイム・トゥ・セイ・グッバイ#、
A・L=ウェバー:「キャッツ」~メモリー#、
マスカーニ:「カヴァレリア・ルスティカーナ」~間奏曲、
チャイコフスキー:「白鳥の湖」~黒鳥のグラン・パ・ド・ドゥ 他
(#は岡本知高さんが歌います)



今月の小コラム

岡本知高さんにQ&A

—横浜という街に関して、どんなイメージを持っていらっしゃいますか。

ぼくは高知の出身ですから、昔は東京が海外のような感じでした。その後、本当に海外に渡ったわけですが…。ですから横浜は東京と同じ感じだと思っていましたが、実際訪れてみるとまるで違う雰囲気の街でした。柔軟性があって視野が広いというか、オープンでスタイリッシュな感じがします。海が近くて外に向かって開かれているからでしょうか。

—175センチ、120キロの堂々たる体躯の岡本さんは美食家でもありますよね。

いいえ、そんなことはありません。ただし、横浜の中華街には目がないですよ(笑)。ぼくは歌い終わると心身が虚脱状態になり、急に料理をしたくなる。何でもトマトで煮たりね。ベランダ菜園もしていますし、とにかく食べることは大好きです。今回は終わったら中華街に行けるかなあ(笑)。

神奈川県民ホールギャラリー

「日常／ワケあり」 Everyday Life／Hidden Reasons

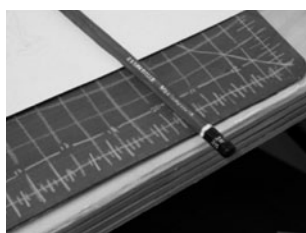
～アート・コンプレックス2011はジョン・ケージにスポットを

県内最大級の展示スペースをもつ神奈川県民ホールギャラリーで、現代アートの企画展が毎年行われていることをご存じだろうか。

近年では、気鋭の若手アーティストによるインスタレーションを紹介して、話題を呼んでいる。

今年は『日常／ワケあり』と題して、ニューヨークで活動する若手3人、江口悟、田口一枝、播磨みどりのグループ展を開催する。

会期中には、「アート・コンプレックス2011」として『ジョン・ケージ生誕100年 せめぎ合う時間と空間』(10/29)も行われる。



江口悟 (えぐち・さとる)

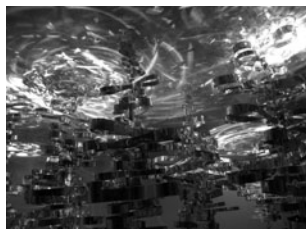
1973年新潟県生まれ。

スクール・オブ・ビジュアル・アート、ファイン・アート科修了。

アントワープ現代美術館、アントワープ、アムステルダムなどで個展を開催。

2006年Yaddo(ニューヨーク)、

08年LOKAAL 01(アントワープ)レジデンス。



田口一枝 (たぐち・かずえ)

1975年茨城県生まれ。

女子美術大学洋画専攻版画コース卒業。バルセロナ・ガラスセンター卒業。バージニア・コモンウェルス大学大学院ガラス科修了。

アルコルコン・ガラス美術館(マドリド)、米バーモント・スタジオ・センター、レッドミルギャラリーなどで個展を開催。



播磨みどり (はりま・みどり)

1976年神奈川県生まれ。

女子美術大学洋画専攻版画コース卒業。

アメリカ、日本の各地で個展を開催。

2006年エマーゼンシー・アート(ニューヨーク)、

07年エゴン・シーレ・アートセンター(チェスキー・クロムロフ)レジデンスなど。

©Nick McDonell

「日常／ワケあり」のワケ

1975年の開館以来、現代アートの紹介に力を入れてきた県民ホールギャラリーが、30代の若手作家にスポットをあてるようになったのは2007年から。この展覧会の評価で芸術選奨文部科学大臣新人賞を受けた「沈黙から 塩田千春展」(07年)に始まり、「小金沢 健人 あれとこれのあいだ」(08年)、「日常／場違い」(09年)、「泉太郎 こねる」(10年)に続く今年のタイトルは「日常／ワケあり」。さて、「日常／ワケあり」とは？

「例えば、紙でできた鉛筆の形のオブジェを見て、われわれが『鉛筆』と認識するのは、それが記憶にある鉛筆の色と形と一致するからでしょう。その際、『本当に鉛筆なのか』までは考えないことが多い。そのような、われわれの「記憶」と現実の「認識」のズレがどうして生まれるのか、そのワケ(Hidden Reasons)を感じていただきたい、ということが、今回の展覧会の狙いの一つです。江口悟さんの作品(写真)を例に説明しましたが、今回の3人の作家のインスタレーションは、いずれも「われわれが世界をどのように見ているか」を考えさせるきっかけを与えてくれる作品です。

つまり『日常／ワケあり』は、われわれが日頃接している家具や日用品、本やインターネットなどのメディア、また光といった「日常」をモチーフに、それらを工芸的ともいえる手法で構成したインスタレーションが展示され、「日常(Everyday Life)」があえて別の世界に変換させられることによって、普段気づかないような記憶と現実のギャップ、認識の曖昧さを覚醒させようとする試みと言えます」と県民ホールギャラリーの学芸員、中野仁詞さんは語る。

播磨みどり氏の作品(写真・左下)も、一人の女の子にみえて、顔と体のパーツはインターネットにアップされた別々の素材から組み合わせて作られたもの。

「3人の作家に共通するのは、ニューヨークを拠点にしていること、また3人とも気の遠くなるほど手間のかかる制作工程を経て、自分の世界を作っているアーティストである、という点です」

現代アートを体感するワクワク感を

国内はもとより海外に出向いて自らのネットワークでアーティストを探し、企画を練り上げてきた中野さん。とりあげるポイントはどこにあるのだろうか。

「5つの異なる広さと構造を持つギャラリーの空間を最大限に活用できること。最も広い第5展示室の空間

『日常／ワケあり』展覧会情報

日常／ワケあり

10月18日(火)～11月19日(土) 10:00～18:00(会期中無休) 神奈川県民ホールギャラリー

入場料:一般700円/学生・65歳以上500円/高校生以下無料

※入場は閉場の30分前まで ※10月29日(土)はアート・コンプレックス2011準備のため14:00閉場

※10月22日(土)、11月5日(土)、12日(土)、19日(土)は19:00まで開場

日常／ワケあり×アート・コンプレックス2011

ジョン・ケージ生誕100年 せめぎ合う時間と空間(第82回舞台芸術講座)

10月29日(土) 16:00 開演/19:00 開演 神奈川県民ホールギャラリー

全席自由 2,500円 発売中

〈プログラム〉

ジョン・ケージ/《フリーマン・エチュード》より、《ヴァリエーションズ》より、《危険な夜》

美術:田口一枝 出演:亀井庸州(ヴァイオリン)、北村明子(ダンス)、寒川晶子(ピアノ)、一柳 慧(解説)

〈イベント情報〉(展覧会入場者のみ観覧可)

・アーティストトーク

10月22日(土)14:00 江口悟、田口一枝、播磨みどり

10月30日(日)15:00 江口悟

11月3日(木・祝)15:00 学芸員トーク

11月5日(土)13:00 田口一枝/15:00 播磨みどり

11月12日(土)16:00 加藤賢策(アートディレクター)

11月13日(日)13:00 播磨みどり/15:00 田口一枝

11月19日(土)14:00 逢坂恵理子(横浜美術館館長)、田口一枝、播磨みどり

・パフォーマンス

平原慎太郎「昼夜転換癖」

10月23日(日)①14:00、②16:00

※各45分程度。①と②の内容は異なります。

寒川晶子インプロビゼーション

10月30日(日)14:00、16:00

※各回の内容は同じです。

■お問合せ

神奈川県民ホール ☎045-633-3795 URL <http://www.nichijo-wakeari.info/>

チケットかながわ ☎045-662-8866(10時～18時)

を構成できる作家を見つけることも重要なことです。またこの展示室には、“バルコニーの上から”“階段の途中から”“地下フロアに下りてから”の3つの視点があるので、それを意識したインスタレーションを作ってもらよう、作家と数年にわたって話しあいます」

今回の第5展示室は、田口一枝氏の光のインスタレーションで構成される。地下フロアに下りた観客は、上から眺めた作品を違う視点で見ることができ、また作品のただ中に入りこんで光に包まれ、また自らの動きが起す風によってオブジェと反射する光が微妙に動くのを感じることができるだろう。まさに“アートを体感する”楽しさを味わうことができるのだ。

初めての出会いの場を演出

今回は、3人の作家が8月から約2カ月間、横浜の黄金町のスタジオに滞在して作品制作することも話題だ。

「3人の作品をお客さんがご覧になるのは今回が初めてかもしれません。3人が一堂に会してグループ展を行うのも初めて。できるかぎり、こうした“初めての出会い”を神奈川で創り出し、国内外に発信していきたいのです」

数回にわたって予定されているトークイベントは、作家自らが語る作品のコンセプトや制作エピソードなどを聞くことができる貴重な機会。彼らのアートをより身近に感じることができるきっかけになるに違いない。

ケージをテーマに〜アート・コンプレックス2011

“出会い”は、「アート・コンプレックス」のコンセプトでもある。これまでのプロジェクトでも、分野ごとの垣根を超えてアーティストや観客の交流をはかることで、刺激的なアートシーンの創造を試みてきた。

今回、生誕100年(2012年)を記念して取り上げる作曲家のジョン・ケージが活動したのもニューヨーク。この街はアーティスト同士のジャンルを超えた交流が盛んに行われていたアートの坩堝だった。ケージとの親交でも知られ、「アート・コンプレックス」の企画に携わる神奈川芸術文化財団芸術総監督、一柳慧氏(作曲家・ピアニスト)はこう語る。

「アート・コンプレックスは、それぞれのアーティストがジャンルの枠を超えて緊張感をもってぶつかり合い、個性が拮抗する世界を客席で体感してもらうことをめざしています。今回も音楽・美術・ダンスがダイナミックに絡み合い、互いに深く浸透し合うことを願ってプログラミングを考えました。

ケージは“音楽だけで自己完結した世界”を好まず、日常的な音の状態を理想としていました。“不確定性”の精神もその延長上にあるものです。また禅や東洋思想の影響を受け、“人間がすべてコントロールして世界を牛耳る”ことに対して危機感を持ち、いかに自然と共存するかに思いを巡らせていました。3.11の大震災を経たいま、期せずしてですが、あらためてケージの教えが重要な意味を持ってきているように思います」

ケージの時代、ニューヨークでのアーティストたちの交流が最先端のムーブメントを起こしたように、「アート・コンプレックス」によって、ジャンルを横断したアートが、ここ神奈川から発信される。

(文 荒井恵理子・編集部)



アート≠ドラマ!?

よりリアルな表現を求めて美術館⇔劇場を自由に往還する
前代未聞のアート/演劇プロジェクト!

ヴェネチア・ビエンナーレ日本館代表作家を務め、国際的に活躍する美術作家やなぎみわがKAATで演劇公演をプロデュース!

1924年、関東大震災の瓦礫の中からわずか10カ月後に立ち上がり、日本の「演劇」の礎となった伝説的劇場をご存じですか?

築地小劇場。日本の「近代演劇」はここから出発しました。

大正デモクラシーを背景に、文学、音楽、美術、演劇人たちが垣根を越えて集い、新しい表現の花が開いた時代、稀代の演出家として活躍した土方与志や小山内薫、美術家伊藤熹朔などが、

才能を開花させていきました。ロシア・アヴァンギャルド、バウハウスと、世界のアートも激動の時代。

急速な近代化の混沌の中、今よりももっと「世界＝日本/未来＝いま」が切実に呼応していたかもしれない時代に、新しい表現を求めて、未来に向かって疾走したクリエイターたちの魂の叫びを、現代の若手美術家を代表するやなぎみわが再現。21世紀のいま、私たちはそこに何をみるでしょうか。

やなぎみわ(美術作家)

主な作品に、若い女性が自らの半世紀後の姿を演じる写真作品「マイ・グランドマザーズ」、年配の女性が祖母の思い出を語るビデオ作品「グランドドーターズ」、少女と老女の物語をテーマにした写真と映像のシリーズ「フェアリーテール」など。2009年第53回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館代表作家。10年秋には、フェスティバル/トーキョー(F/T10)にて、おぼあちゃんメイドカフェ「カフェ・ロッテンマイヤー」をプロデュース。以後、「演劇」「美術」という枠を超えた芸術活動を進めている。

公演情報

やなぎみわ演劇プロジェクト「1924 海戦」

11月3日(木・祝)～6日(日) KAAT神奈川芸術劇場 大スタジオ

原案・演出・美術:やなぎみわ 脚本:あごさとし 衣裳・小道具:杉本泰英 映像:三谷正、木村三晴 出演:山本麻貴ほか
※舞台美術ワークショップ、レクチャーを開催予定。最新情報はホームページでご確認ください。

<ストーリー>

1924年6月、土方与志と小山内薫が指揮を執る築地小劇場はオープン前の混乱のつばにあって。旗揚げ公演は土方演出「海戦」。ドイツ語戯曲R.ゲーリングの「海戦」は、前代未聞の設計と舞台構造を持つ小劇場で上演され、聞き取れないほどの早い台詞、絶叫と轟音のリアリティで人々を驚かせた。誰も見たことのないアートの境地。「海戦」の稽古と、築地小劇場の船出。2隻の「船」の行く末が重なる。

主催:KAAT神奈川芸術劇場 協賛:SHISEIDO YOKOHAMA TRIENNALE 2011 連携プログラム

■チケット 一般発売 9月25日(日) KAm先行 9月21日(水)

チケットかながわ ☎045-662-8866(10時～18時、無休) インターネット予約(24時間) URL <http://www.kaat.jp/>

やなぎみわ演劇プロジェクト「1924」三部作

第一部「1924 Tokyo-Berlin」 終了 会場:京都国立近代美術館

第三部「1924 人間機械」(仮) 2012年5月1日(火)～6日(日)(予定)

会場:京都市内 ※回顧展「村山知義」展に合わせて上演予定。

「NHKのど自慢」開催!

NHK横浜放送会館オープン1周年とKAATオープンを記念して「NHKのど自慢」の公開生放送を実施します。出場する方、観覧する方、ふるってご応募ください!

ゲスト:布施明、天童よしみ 日時:【本選】11月20日(日)11:45開演/【予選会】11月19日(土)13:00開始 会場:KAAT神奈川芸術劇場 ホール
応募方法:出場・観覧とも、往復はがきでお申し込みください。

①「出場申込み」締切10月20日(木) 必着 宛先:〒231-8324(住所不要)NHK横浜放送局「NHKのど自慢」出場係
「往信用裏面」①郵便番号、②住所、③名前(フリガナ)、④年齢(中学生以下は不可)、⑤職業(具体的に)、⑥電話番号、⑦歌いたい曲(1曲)、⑧歌っている歌手、⑨その曲を選んだ理由(簡潔に) ※グループの場合は、③～⑤について全員分を記入
「返信用表面」①郵便番号、②住所(グループの場合は代表者の住所)、③名前(グループの場合は代表者の名前)
※申し込みはお1人(または1組)1通。原則アマチュア限定。 ※応募多数の場合は選出の上、予選会にご出場いただけます。
※曲名および出場者の変更はできません。

②「観覧申込み」締切10月27日(木) 必着 宛先:〒231-8324(住所不要)NHK横浜放送局「NHKのど自慢」観覧係
「往信用裏面」①郵便番号、②住所、③名前、④電話番号 「返信用表面」①郵便番号、②住所、③名前
※応募多数の場合は抽選の上、入場整理券(1枚2人入場可)をお送りします。 ※1歳以上のお子様から入場整理券が必要です。
※応募の際の情報は抽選または選出結果のご連絡のほか、NHKでは受信料のお願いに使用することがあります。
お問合せ:NHK横浜放送局 ☎045-212-2663(自動音声) URL <http://www.nhk.or.jp/yokohama/>

県央・相模原エリアに注目!

本格的なアート、行楽シーズンの到来! ホールはとっておきのラインアップをとりそろえ、芸術祭や文化祭が花盛り。自然のなかの芸術体験も神奈川流です。

県央・相模原エリア



相模原市藤野町佐野川地区
「にほんの里100選」に選ばれた茶畑が広がる。自給自足の里としても知られ、ユズも特産品。
写真提供:相模原市藤野経済観光課

① 県立 藤野芸術の家

豊かな自然の中で初心者も陶芸、木工、ガラス工芸ができる体験工房や宿泊施設、貸しスタジオやホールがあり、合宿など様々な目的に合わせて利用可。10月10日(月・祝)14:00 イ・ムジチ合奏団と久保田巧の共演「四季(全曲)」公演 3,000円、同日11:00 子どものための「初めてのヴァイオリン体験」。体験工房は、毎日9:00~12:00、13:00~15:00に随時受付。秋の工作メニューも開催。お問合せ: ☎042-689-3030

② グリーンホール相模大野

小田急線相模大野駅から徒歩約4分。大ホールと多目的ホールでさまざまな公演を行っている。10月23日(日)14:00 多目的ホール 相模原音楽家連盟コンサートNo.7 シューマンの生涯~妻クララへの尊敬と嫉妬に揺れた音楽ジャーナリスト~ピアノ:鈴木香緒里、後藤美穂、渡辺明子 ソプラノ:大森智子、ヴァイオリン:糸原彩香 全席自由2,500円、学生(25歳以下)1,500円 お問合せ: ☎042-742-9999

③ 杜のホールはしもと

開館10周年企画が秋を彩る。10月7日(金)19:00 シリーズ“杜の響き”vol.22 藤原真理&清水和音 デュオ・リサイタル 全席指定3,000円、学生1,500円 11月5日(土)14:00 チェーホフシリーズ「三人姉妹」演出:山崎清介、出演:竹下明子、伊沢磨紀 他 全席指定3,500円、ペア券6,000円
*公演を楽しむための関連講座「チェーホフの世界を探る」あり。
お問合せ: ☎042-742-9999

④ ハーモニーホール座間

“森の音楽堂”と名付けられた1,310人収容の大ホールで、コンサートなどが行われている。10月30日(日)15:00 イ・ムジチ合奏団 結成60年記念ツアー 曲目:ヴィヴァルディ:四季、坂本龍一:「ラスト・エンペラー」のテーマほか 全席指定S席8,000円、A席5,000円、B席3,000円 11月20日(日)15:00 横山幸雄ピアノ・リサイタル 全席指定S席4,000円、A席3,500円 お問合せ: ☎046-255-1100

⑤ YAMATO ART100 ~大和のアートを楽しむ100日間

「アートの力」で人とまちを元気に、かつ大和の文化芸術を広く発信することを目的としたプロジェクト。9月3日(土)から12月11日(日)までの「100日間」にさまざまなアート・イベントが繰り広げられる。参加するのは公募で集まった大和市、市民団体、民間ホールやギャラリー主催による団体。コンサート、演劇、絵画展、朗読、詩吟、茶の湯の会など多様な催しものが楽しめる。お問合せ: ☎046-260-5222

⑥ 海老名市文化会館

リニューアルオープンを記念して秋公演が行われる。11月3日(木・祝)16:00 大ホール 小曾根真コンサート 全席指定6,000円 11月19日(土)14:00 小ホール カルミナ・クアルテット 自由席1回券4,500円(「えびかんクラシカル・フレンズ」は、12月11日(日)レジス・パスキエ、2012年1月14日(土)館野泉公演とあわせて、3公演で10,000円)
お問合せ: ☎046-232-3231

*計画停電に伴う変更のある可能性がありますので、事前に各施設にお問合せのうえ、お出かけください。

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 演奏会案内

第275回定期演奏会

10月7日(金)19:00 開演 横浜みなとみらいホール 大ホール
指揮:金聖響
出演:森麻季、林美智子、吉田浩之、青山貴、神奈川フィル合唱団
モーツァルト/レクイエム 他

第276回定期演奏会

12月2日(金)19:00 開演 横浜みなとみらいホール 大ホール
指揮:広上淳一 出演:三浦文彰
チャイコフスキー/ヴァイオリン協奏曲、ドヴォルザーク/交響曲第8番 他
S6,000円 A4,500円 B3,000円 学生(B)1,000円
*シニア(70歳以上)は各席種2割引

お問合せ:神奈川フィル・チケットサービス ☎045-226-5107(平日10:00~18:00)
<http://www.kanaphil.com/> ※未就学児のご入場はご遠慮ください。



金聖響

県立神奈川近代文学館 企画案内

没後60年記念展 いま輝く林芙美子

1930(昭和5)年『放浪記』で文壇デビューを飾り、ベストセラー作家の一員となった林芙美子は、その後も貧しさや戦争によって運命を翻弄される庶民の哀感を描き続け、『めし』を新聞連載中の51年に47歳で急逝しました。劇的なその生涯と作品には、没後60年を経た今、改めて強い関心が寄せられています。本展は、原稿・草稿、書簡、遺愛品など約400点によって、作家・林芙美子のその生涯と作品を紹介します。

10月1日(土)~11月13日(日)

※休館日は10月10日(月・祝)を除く毎月曜日

一般600円、65歳以上/20歳未満及び学生300円、高校生100円、中学生以下は無料

県立神奈川近代文学館 第2、3展示室

〒231-0862 横浜市中区山手町110

☎045-622-6666 <http://www.kanabun.or.jp/>

ドクドクしいけどチープでキュート、まがまがしいけどポップでキャッチー。 「ロッキー・ホラー・ショー」KAATで上演決定!

“俺たちの聖典を見せてやるぜ!”

『劇団☆新感線』率いる天才演出家・いのうえひでのりと、演劇界きってのロック野郎・古田新太。

“ロッキー・フリーク”を自称してはばからない二人が構想20年、満を持して挑みます!

「ロッキー・ホラー・ショー」を愛してやまない曲者キャストたちがこぞって結集、

『劇団☆新感線』でお馴染みのクリエイティヴ・チームと、岡崎司率いるご機嫌なロックバンドの生演奏で繰り広げる大騒ぎのロック・ミュージカルです。

豪華キャストでお贈りする、「ロッキー・ホラー・ショー」の集大成版誕生です!

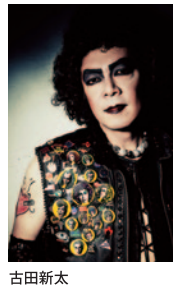
あらすじ

友人の結婚式の勢いに乗せられ、自分たちも婚約してしまったジャネット(笹本玲奈)とブラッド(中村倫也)。二人は恩師に報告しようと、嵐の夜、車を走らせていた。

しかしタイヤがパンク。助けを求めて彼らは、人里離れた荒野に建つ古い城にたどり着いた。

困り果てたカップルの前に現れたのは、不気味な執事リブラフ(岡本健一)と使用人のマゼンタ(グリフィス・ちか)やコロンビア(ニーコ)たち。

その異様な雰囲気呑まれて戸惑う二人をそっこのけに、城の中ではノリノリのパーティーが始まる。さらに、黒いガーター&ストッキング姿も妖艶な城の主・フランク“N”・フルター(古田新太)が現れた。彼は服装倒錯バリバリの両性具有人であり、この城で秘密の実験を行っている科学者でもあるという。その実験とは、人造人間を創り出すこと。まさにこの夜は、彼の輝かしい実験が最終段階を迎えようとしていたのだった。



古田新太

ロッキー・ホラー・ショー

12月9日(金)~25日(日) KAAT神奈川芸術劇場 ホール

脚本・作詞・作曲:リチャード・オブライエン 演出:いのうえひでのり

出演:古田新太/岡本健一、笹本玲奈/中村倫也、グリフィス・ちか、右近健一/辛源、ニーコ/飯野めぐみ、生尾佳子、JuNGLE、皆本麻帆/ROLLY/藤木孝

前売開始:10月16日(日) S席9,500円 A席7,500円 B席5,500円 1階バルコニー後列席9,000円(チケットかながわのみ)(税込)

■公演日程

	12/9 (金)	10 (土)	11 (日)	12 (月)	13 (火)	14 (水)	15 (木)	16 (金)	17 (土)	18 (日)	19 (月)	20 (火)	21 (水)	22 (木)	23 (金・祝)	24 (土)	25 (日)
14:00		●	●	休演		●	●		●	●	休演		●			●	●
19:00	●	●			●	●		●	●			●	●	●			●

■チケット

チケットかながわ ☎045-662-8866(10:00~18:00、無休) インターネット予約(24時間) URL http://www.kaat.jp/

イープラス、ぴあ、ローソン、tvkチケットセンター

※KAmE(かながわメンバーズ)先行予約(抽選):9月10(土)~19日(月・祝) 上記URLより受付

■お問合せ

パルコ ☎03-3477-5858 URL http://www.parco-play.com/

主催:(株)パルコ 提携:KAAT神奈川芸術劇場

チケットの
お求めは

インターネットチケット予約(24時間受付)
<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

チケットかながわ 045-662-8866 (電話10:00~18:00)
 (県民ホール窓口10:00~18:00/芸術劇場窓口10:00~18:00/音楽堂窓口13:00~17:00月休)

あなたが支える。あなたが楽しむ。
 あなたとつくる、カナガワの芸術と文化。

賛助会員募集のご案内

公益財団法人神奈川芸術文化財団では、質の高い芸術作品の提供と普及のため、賛助会員の制度を設立し、広くみなさまのお力添えをいただいております。税制上の優遇措置、ご芳名の掲載等、様々な特典もございます。

詳しくは広報営業課までお問合せください。公益財団法人神奈川芸術文化財団 広報営業課 ☎045-633-6520

公益財団法人神奈川芸術文化財団 賛助会員

法人賛助会員

愛知株式会社
 株式会社浅岡装飾
 株式会社アクトエンジニアリング
 株式会社朝日工業社横浜支店
 学校法人岩崎学園
 株式会社ウォートル
 株式会社NHKアート
 神奈川県信用保証協会
 神奈川県民共済生活協同組合
 カヤバシステム マシナリー株式会社
 川本工業株式会社
 かをり商事株式会社
 株式会社キョウエイ装備

株式会社合同通信
 株式会社さが美
 株式会社ジェイエムアンドカンパニー
 財団法人シルクセンター国際貿易観光会館
 生活協同組合コープかながわ
 生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ
 生活クラブ生活協同組合
 株式会社清光社
 株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ
 大栄電子株式会社
 月島機械株式会社
 株式会社テレビ神奈川
 株式会社東急スペース開発
 ナイス株式会社
 奈良建設株式会社

株式会社日建設計
 日産自動車株式会社
 日生精工株式会社
 日立電子サービス株式会社
 丸茂電機株式会社
 三沢電機株式会社
 森平舞台機構株式会社
 ヤマハサウンドシステム株式会社
 株式会社有隣堂
 株式会社豊商會
 株式会社ユニコーン
 株式会社横浜アーチスト
 横浜エレベーター株式会社
 横浜信用金庫
 株式会社横浜ステーションビル

永年個人賛助会員

川村恒明
個人賛助会員
 江田真子
 三角京子
能舞台協賛
 ナイス株式会社
協力
 崎陽軒
 コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社
 株式会社東芝 首都圏南支社
 野村證券株式会社横浜支店
 藤珍樓 横浜本店
 三菱地所株式会社
(匿名:1社、1名)

KAAT神奈川芸術劇場 御協賛

朝日新聞社
 アサヒビール株式会社
 エバラ食品
 神奈川県信用保証協会
 かをり商事株式会社
 株式会社キタムラ
 崎陽軒
 株式会社合同通信
 株式会社ジェイコム湘南
 日産自動車株式会社
 株式会社野毛印刷社
 パナソニック電工株式会社
 ぴあ株式会社
 日立電子サービス株式会社

株式会社ファンケル
 公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館
 株式会社ホテル、ニューグランド
 株式会社ボンパドゥル
 株式会社みずほ銀行横浜支店
 株式会社豊商會
 横浜銀行
 株式会社横浜ステーションビル
 リスト株式会社

(2011年8月22日現在)

WHAT'S ON? 09

横浜・山下町周辺のアート、コンサート、イベント情報ピックアップ

① 関内外OPEN! 3



11月3日(木・祝)~5日(土)
横浜都心部で活動するアーティスト・クリエイターが期間限定で仕事場を一般公開。倉庫やビルを改装した約113か所の仕事場を訪問することができる。気軽に楽しめるツアー、イベントも同時開催! 会場:ヨコハマ創造都市センター(総合受付)ほか
料金:無料(一部有料) お問合せ:☎045-221-0325

② 黄金町バザール2011「まちをつくるこえ」



(Welcome to LOVE LINK DOLLS -Your Voice-) 2010

開催中~11月6日(日)
「アートによるまちづくり」をテーマに、アーティストとコミュニティが一体となって街を盛り上げるアート・プロジェクト。約30組の参加アーティストが、街に滞在しながら作品を制作します。
開館時間:昼間の会場11:00~19:00 夜の会場 日没~0:00
休館日:9月の毎週木曜日、10月13日(木)、10月27日(木)
入館料:一部会場のみ「黄金町バザール2011パスポート」が必要 高校生以上500円/中学生以下無料
お問合せ:☎045-261-5467

③ 神奈川県民ホール



高田泰治(チェンバロ)

バロックな午後 高田泰治×チェンバロ=J.S.バッハ
10月15日(土)14:00 開演 小ホール
ドイツでも認められた高田泰治のチェンバロを、延原武春(オーボエ)と浅井咲乃(ヴァイオリン)との共演によるバッハ名作選で。チェンバロ楽器紹介やドリンクサービスもあります!
全席指定 一般2,000円 学生(24歳以下)1,000円
お問合せ:☎045-662-8866(チケットかながわ:10:00~18:00)

KANAGAWA PEOPLE かながわ・ピープル 03

「三代住んで江戸っ子、三日住めば浜っ子」——岡山、広島、大阪を経て横浜で仕事を始めたばかりの頃、教えてもらった言葉です。キャスターという仕事柄、「いかに横浜を知り、横浜の人になれるか」を課題としている私は、この言葉にとっても勇気づけられてきました。実際、横浜には新しいものを受け入れてくれる度量の広さがあるように思います。また、積極的に独創的な企画に取り組みされている人も多くですね。開港してまだ150年あまりですから、横浜には「みんなが時代を切り拓く可能性を持っている」という意識があるのではないのでしょうか。

いまでは定番の“横浜らしい”風景が、実は40年ほどかけて計画的にデザインされてきたということ、クリエイティブな人々を誘致していること——人々の英知がいまの横浜を作ってきたことを知って、ますますこの街が好きになりました。これからもたくさんの人と出会って横浜の魅力を学び、さらに多くの人に伝えていきたいです。



船本由佳(フリーキャスター)
NHK横浜放送局で「FMサウンド☆クルーズ」などを担当。プロダクション「フナトユカ」の150センチの世界」でも横浜のアートスポットを紹介している。
<http://150cm.seesaa.net/>



森さんぽ 9

森日出夫さん撮影の写真でめぐる横浜散歩

インド水塔(山下公園)

1923年の関東大震災後、横浜市は被災したインド商人のために、商館を建て直し住宅の手当てに力を注ぎました。その返礼として市に贈られたのが「インド水塔」です。震災のがれきを埋め立てて作られた山下公園にあって、「復興」のシンボルとして親しまれています。



県内のアート情報はここで探そう!

<http://www.kanagawa-at.info/> 「かな@」で県内のアート情報を検索できます。

TOSHIBA
Leading Innovation >>>



REGZA

www.toshiba.co.jp/regza

REGZA 55ZG2

REGZAブルーレイ RD-X10

東芝グループは、持続可能な地球の未来に貢献します。ecoスタイル